



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 不二サッシ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5940 URL <http://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土屋 英久

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長

(氏名) 濱高 和長

TEL 044-520-0733

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,380	△1.7	△490	—	△608	—	△701	—
23年3月期第1四半期	13,616	16.6	△735	—	△860	—	△1,074	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △703百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,117百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△7.14	—
23年3月期第1四半期	△10.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	71,085	4,766	6.6	△13.15
23年3月期	69,508	5,422	7.7	△6.47

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,707百万円 23年3月期 5,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,700	△1.0	100	—	△200	—	△350	—	△3.97
通期	94,900	5.8	1,580	41.5	1,050	64.0	730	28.0	7.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	98,334,867 株	23年3月期	98,334,867 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	56,948 株	23年3月期	56,825 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	98,277,944 株	23年3月期1Q	98,280,341 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの立て直しが進み、停滞していた生産活動の回復に伴い、上向きの動きも見られますが、電力供給の問題に加え、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念など、先行きの不透明感はぬぐいきれない状況で推移しました。

アルミ建材業界においては、当社グループが主力とするビルサッシ分野は、マンション市況に持ち直しの動きが出始めたものの、公共事業や企業の投資抑制等からゼネコンの建設受注は緩やかな回復ペースにとどまり、我々を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いております。一方、建材以外のアルミ型材や加工品等の分野においては、全般的に需要が回復し、堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、本年度よりスタートした「中期経営3ヵ年計画（平成23年度～25年度）」の中で、建材事業のコストダウンの継続推進により利益と価格競争力の確保に努め、また、市場成長性と強みのある事業分野へ経営資源を投入し、グループ事業構造の改革を図るとともに、会計・人事システムの共通化、ホストコンピュータのダウンサイジングによる経費の削減等、グループ経営の一層の効率化・合理化の推進にグループ全社一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高133億8千万円（前年同期比1.7%減）で減収となりましたが、利益面では営業損失4億9千万円（前年同期比2億4千5百万円良化）、経常損失6億8百万円（前年同期比2億5千2百万円良化）、四半期純損失7億1百万円（前年同期比3億7千2百万円良化）となり、損失計上ながらいずれも前年同期と比べ改善しております。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔建材事業〕

主力の建材事業においては、新設住宅着工戸数・非木造建築物着工床面積が前年に比べ若干回復傾向にあります。建築需要全体としては依然厳しい状況が続く、売上高は前年同期比0.5%減の74億1千9百万円と減収となりました。セグメント損益は合理化効果で前年同期に比べ2億5千4百万円良化したものの、6億2千5百万円のセグメント損失となりました。

〔型材外販事業〕

型材外販事業においては、需要先の業績回復に伴い一般型材・アルミ加工品等が順調に推移し、売上高は前年同期比4.1%増の51億7千4百万円となり、セグメント利益は前年同期に比べ2千5百万円増加し3億8千3百万円となり、増収増益となりました。

〔環境事業〕

環境事業においては、都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備プラントとそれに伴う薬剤販売、都市ゴミリサイクル施設の設計・製作・工事を行っています。公共施設が主体となることなどから、3月に発生した東日本大震災の影響で新規工事・メンテナンスに遅延が発生し、売上高は前年同期比26.2%減の4億4千6百万円と減収となりました。セグメント損益は合理化効果で前年同期に比べ1千9百万円良化したものの、4百万円のセグメント損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は433億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億6千5百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が50億5千8百万円減少し、仕掛品が63億3千万円増加したことによるものであります。固定資産は277億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千7百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億5千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、710億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億7千7百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は529億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億6千2百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が17億8百万円減少し前受金が34億5千9百万円増加したことによるものであります。固定負債は133億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千1百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が1億2千5百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、663億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億3千3百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千6百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失7億1百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は6.6%（前連結会計年度末は7.7%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間ならびに通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから平成23年5月11日に公表いたしました予想数値から変更はいたしておりません。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因については、平成23年5月11日公表の平成23年3月期の決算短信の5ページを参照ください。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,851	8,262
受取手形及び売掛金	18,525	13,466
商品及び製品	1,039	1,241
仕掛品	9,317	15,647
原材料及び貯蔵品	2,841	3,202
販売用不動産	227	227
その他	1,585	2,012
貸倒引当金	△810	△719
流動資産合計	41,577	43,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,619	35,665
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,668	△27,799
建物及び構築物（純額）	7,951	7,865
機械装置及び運搬具	44,222	44,274
減価償却累計額及び減損損失累計額	△41,844	△41,988
機械装置及び運搬具（純額）	2,377	2,286
土地	13,165	13,166
リース資産	214	226
減価償却累計額	△63	△75
リース資産（純額）	150	150
その他	14,405	14,460
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,901	△13,938
その他（純額）	503	521
有形固定資産合計	24,148	23,992
無形固定資産		
その他	85	91
無形固定資産合計	85	91
投資その他の資産		
投資有価証券	1,511	1,500
長期貸付金	70	58
繰延税金資産	200	205
その他	3,083	2,948
貸倒引当金	△1,168	△1,054
投資その他の資産合計	3,696	3,658
固定資産合計	27,930	27,743
資産合計	69,508	71,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,203	15,495
短期借入金	25,649	26,070
リース債務	50	51
未払法人税等	221	86
前受金	4,759	8,218
賞与引当金	—	119
役員賞与引当金	7	6
工事損失引当金	271	292
資産除去債務	177	177
その他	2,462	2,446
流動負債合計	50,803	52,965
固定負債		
長期借入金	1,140	1,061
リース債務	114	113
繰延税金負債	224	216
再評価に係る繰延税金負債	492	497
退職給付引当金	10,494	10,620
資産除去債務	168	181
その他	647	662
固定負債合計	13,281	13,353
負債合計	64,085	66,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	814	814
利益剰余金	2,401	1,746
自己株式	△7	△7
株主資本合計	4,917	4,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46	△89
土地再評価差額金	1,426	1,421
為替換算調整勘定	△933	△887
その他の包括利益累計額合計	446	444
少数株主持分	58	58
純資産合計	5,422	4,766
負債純資産合計	69,508	71,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	13,616	13,380
売上原価	11,791	11,458
売上総利益	1,824	1,922
販売費及び一般管理費	2,560	2,412
営業損失(△)	△735	△490
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	10	41
助成金収入	34	—
その他	47	38
営業外収益合計	97	87
営業外費用		
支払利息	164	164
手形売却損	23	16
持分法による投資損失	—	2
その他	35	21
営業外費用合計	222	205
経常損失(△)	△860	△608
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	101	—
その他	0	0
特別利益合計	102	1
特別損失		
固定資産除却損	9	12
投資有価証券評価損	—	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	—
退職給付費用	43	10
その他	4	8
特別損失合計	278	33
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,037	△640
法人税等	42	62
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,079	△703
少数株主損失(△)	△5	△1
四半期純損失(△)	△1,074	△701

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,079	△703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	△42
土地再評価差額金	—	△5
為替換算調整勘定	69	47
その他の包括利益合計	△37	△0
四半期包括利益	△1,117	△703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,114	△704
少数株主に係る四半期包括利益	△3	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

〔セグメント情報〕

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	7,455	4,973	604	13,033	582	13,616
セグメント間の内部売上 高又は振替高	75	2,052	—	2,128	648	2,776
計	7,531	7,025	604	15,162	1,230	16,393
セグメント利益又は損失 (△)	△880	358	△23	△545	104	△441

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「産業廃棄物処理」、「運送」、「保管管理」、「各種金属の表面処理」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△545
「その他」の区分の利益	104
セグメント間取引消去	38
全社費用（注）	△332
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△735

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	7,419	5,174	446	13,040	340	13,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	62	2,262	—	2,324	698	3,023
計	7,481	7,437	446	15,365	1,038	16,404
セグメント利益又は損失 (△)	△625	383	△4	△246	54	△191

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「各種金属の表面処理」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△246
「その他」の区分の利益	54
セグメント間取引消去	34
全社費用（注）	△333
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△490

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。